

Title	慶應義塾の看護教育の変遷に関する研究III
Sub Title	The 100th history of nursing in Keio University
Author	藤井, 千枝子(Fujii, Chieko)
Publisher	慶應義塾大学
Publication year	2018
Jtitle	学事振興資金研究成果実績報告書 (2017.)
JaLC DOI	
Abstract	慶應義塾における看護教育(以下, 慶應看護)は, 1918(大正7)年の慶應義塾大学医学部附属看護婦養成所設立に始まる。2018年に100周年を迎える中で, 本研究は, 実学としての慶應看護の歴史的編纂により, 看護医療の先導者たる学生の育成に向けた基礎資料とすることを目的とした。 ①慶應看護百年史の作成 2017年度は, 慶應義塾出版会との会議を重ね, 記念誌の編纂を行った。 また, 先導的な活動や国際的な活動に関する資料を収集し, 未来に向けた慶應看護の可能性を探ることを目的に研究を行った。 慶應看護100年記念講演会として, 「第2回: 慶應看護のいま, これから」と題し, 卒業生や教員による国際的な活動の講演を行った。 ②映像化 これまで学事振興資金によりアーカイブしたものと, 卒業生や学生の活動をもとにした映像制作のために, 現在および未来へのメッセージを検討した。特に大きな成果としては, 第二次世界大戦中から戦後における慶應義塾大学病院での看護医療に関わる体験を記録できたことにある。第二次世界大戦中から戦後の慶應看護に関しては, 当時の看護婦や教員であった卒業生による座談を行った。座談の中では, 戦火にある慶應義塾大学病院において, 看護婦の自分に向けて爆弾が落とされている最中であっても, 患者を担架に乗せて命がけで安全な場所に運ぶなど, 患者を守るために必死だったことが想起された。慶應看護は戦争という恐怖下でも, 患者中心の看護活動を実践してきたことが改めて伝えられた。90歳を超えた看護師たちからは, これらの経験を含め, 生命の尊さが語られた。 先人たちのインタビューでは, 慶應看護の問いに対し「気品の泉源」という言葉が発せられることが多かった。慶應義塾の教えは, 生涯の糧となり, 人生を豊かに歩む道標として刻まれた。また, 慶應看護教育の中でも, 互いに学び合い, 育まれてきたことが, 各々の言葉で表現された。 これらの内容は, 慶應看護100年記念式典に合わせ, 慶應義塾大学デジタルメディア・コンテンツ総合研究センターによるプロモーション映像として制作がなされた。 ③今後の課題 重要な史実を次世代に引く継ぐために, 資料収集の中で見出された戦後直後の教育関連の資料などのアーカイブを引き続き行い, 慶應看護の真髄を探る。 Nursing education of Keio University marks the 100th anniversary in 2018. We aimed to learn from history of Nursin in Keio Unibersity. By this, we will make use of the future development of nursing education of Keio. The most important discovery, the seniors have practiced the importance of life and patient-centered nursing activities under the fear of war. It was reported that the teachings of the Keio University were the significant didactic of our life. This year, we compiled a book that summarizes the history of 100 years. And we held a commemorative lecture and created a film.
Notes	
Genre	Research Paper
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=2017000002-20170315

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

研究代表者	所属	看護医療学部	職名	教授	補助額	2,000 千円
	氏名	藤井 千枝子	氏名（英語）	Chieko Fujii		
研究課題（日本語）						
慶應義塾の看護教育の変遷に関する研究Ⅲ						
研究課題（英訳）						
The 100th history of Nursing in Keio University						
研究組織						
氏 名 Name		所属・学科・職名 Affiliation, department, and position				
藤井 千枝子 (Chieko Fujii)		看護医療学部・看護学科・教授				
小池 智子 (Tomoko Koike)		看護医療学部・看護学科・准教授				
朴 順禮 (Sunr Pak)		看護医療学部・看護学科・専任講師				
田村 紀子 (Noriko Tamura)		看護医療学部・看護学科・助教				
鈴木 有紀 (Yuki Suzuki)		湘南藤沢メディアセンター事務員(看護医療学図書室担当)				
1. 研究成果実績の概要						
慶應義塾における看護教育（以下、慶應看護）は、1918(大正 7) 年の慶應義塾大学医学部附属看護婦養成所設立に始まる。2018 年に 100 周年を迎える中で、本研究は、実学としての慶應看護の歴史的編纂により、看護医療の先導者たる学生の育成に向けた基礎資料とすることを目的とした。 ①慶應看護百年史の作成 2017 年度は、慶應義塾出版会との会議を重ね、記念誌の編纂を行った。 また、先導的な活動や国際的な活動に関する資料を収集し、未来に向けた慶應看護の可能性を探ることを目的に研究を行った。 慶應看護 100 年記念講演会として、「第 2 回：慶應看護のいま、これから」と題し、卒業生や教員による国際的な活動の講演を行った。 ②映像化 これまで学事振興資金によりアーカイブしたものと、卒業生や学生の活動をもとにした映像制作のために、現在および未来へのメッセージを検討した。 特に大きな成果としては、第二次世界大戦中から戦後における慶應義塾大学病院での看護医療に関わる体験を記録できたことにある。第二次世界大戦中から戦後の慶應看護に関しては、当時の看護婦や教員であった卒業生による座談を行った。座談の中では、戦火にある慶應義塾大学病院において、看護婦の自分に向けて爆弾が落とされている最中であっても、患者を担架に乗せて命がけで安全な場所に運ぶなど、患者を守るために必死だったことが想起された。慶應看護は戦争という恐怖下でも、患者中心の看護活動を実践してきたことが改めて伝えられた。90 歳を超えた看護師たちからは、これらの経験を含め、生命の尊さが語られた。先人たちのインタビューでは、慶應看護の問いに対し「気品の泉源」という言葉が発せられることが多かった。慶應義塾の教えは、生涯の糧となり、人生を豊かに歩む道標として刻まれた。また、慶應看護教育の中でも、互いに学び合い、育まれてきたことが、各々の言葉で表現された。 これらの内容は、慶應看護 100 年記念式典に合わせ、慶應義塾大学デジタルメディア・コンテンツ総合研究センターによるプロモーション映像として制作がなされた。 ③今後の課題 重要な史実を次世代に引き継ぐために、資料収集の中で見出された戦後直後の教育関連の資料などのアーカイブを引き続き行い、慶應看護の真髄を探る。						
2. 研究成果実績の概要（英訳）						
Nursing education of Keio University marks the 100th anniversary in 2018. We aimed to learn from history of Nursin in Keio Unibersity. By this, we will make use of the future development of nursing education of Keio. The most important discovery, the seniors have practiced the importance of life and patient-centered nursing activities under the fear of war. It was reported that the teachings of the Keio University were the significant didactic of our life. This year, we compiled a book that summarizes the history of 100 years. And we held a commemorative lecture and created a film.						
3. 本研究課題に関する発表						
発表者氏名 (著者・講演者)	発表課題名 (著書名・演題)	発表学術誌名 (著書発行所・講演学会)	学術誌発行年月 (著書発行年月・講演年月)			
慶應看護百年誌編纂委員会	慶應看護 100 年史	慶應義塾大学出版会	2018 年 4 月			
慶應看護百年誌編纂委員会	慶應看護の慶應看護のいま、これから	連合三田会	2017 年 10 月 15 日			
慶應看護 100 年記念講演会	慶應看護の慶應看護のいま、これから	看護医療学部	2017 年 10 月 21 日			
慶應看護百年誌編纂委員会	慶應看護 100 年史	湘南藤沢キャンパスオープンリサーチフォーラム	2017 年 11 月 22 日 23 日			

平成 29 年 4 月 4 日

平成 29 年度 学事振興資金 研究分担者一覧
(○共同研究・部門横断型共同研究・研究科枠)
該当資金名に○をつけてください

研究代表者氏名・所属：

研究分担者名	所属・職名	研究課題（分担・役割等）
藤井 千枝子	看護医療学部・看護学科・教授	研究の計画と統括
小池 智子	看護医療学部・看護学科・准教授	研究の実施（資料の収集・検証・分析）、結果のまとめ
朴 順禮	看護医療学部・看護学科・専任講師	研究の実施（資料の収集・検証・分析）
田村 紀子	看護医療学部・看護学科・助教	研究の実施（資料の収集・検証・分析）
山内 慶太	看護医療学部・看護学科・教授	研究の実施（資料の収集・検証・分析）
鈴木 有紀	湘南藤沢メディアセンター事務員(看護医療学図書室担当)	資料収集・デジタル化・アーカイブ